

有害プランクトン情報 R7-1号 第8報

赤潮警報

(伊万里湾)

伊万里湾 第8報

令和7年7月8日

佐賀県玄海水産振興センター

伊万里湾でカレニア ミキモトイが増殖しています。

7月8日の伊万里湾での調査において、有害種であるカレニアミキモトイが確認されています。最高細胞密度は **福島南 (6.0m)** の **400細胞/mL**で、**巻貝,二枚貝**に対して**警報レベル**、**魚類**に対して**注意報レベル**です。

カレニア ミキモトイは、魚貝類に被害を与えます。今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、海水の着色や養殖魚介類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

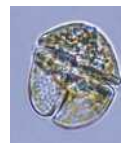
☐ 貝類 養殖・蓄養	巻貝,二枚貝	警報	・餌止め（アワビ） ・貝掃除、挿核作業の停止
☐ 魚類 養殖・蓄養		注意報	・喰わせ込みの停止 ・早期出荷 ・生け簀移動・網丈延長の準備と実行 ・淡水浴、薬浴、歯切り等の作業の停止
着色域は風や潮流により移動します。 養殖魚介類の状況には十分ご注意ください。			

【留意点】

- ・カレニア ミキモトイは魚貝類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。
- ・カレニア ミキモトイは海面が着色していなくても、中底層に赤潮を形成していることがあります。特に、アワビ、サザエ等では、海面が着色する前にへい死する可能性があります。

【カレニア ミキモトイ(Karenia mikimotoi)の特徴】

- ・赤潮時期：5月～9月（まれに冬季に発生）
- ・出現水温・塩分：9～31℃、16～36‰
- ・被害密度：約1,000 細胞数/mL以上
※特にアワビ、サザエは数10 細胞数/mL以上
- ・被害対象 魚類：マダイ、トラフグ、ハマチなど
貝類：アワビ、サザエ、アコヤガイなど



カレニア ミキモトイ

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

有害プランクトン情報 R7-1号 第8報

赤潮警報

(伊万里湾)

調査年月日：令和7年7月8日

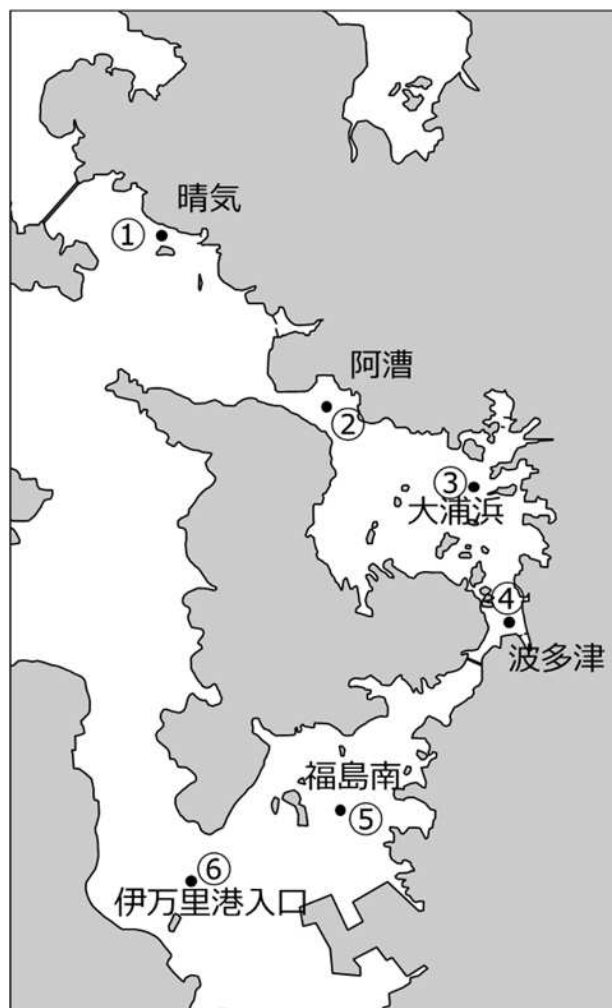
採水時間：10時00分～11時30分

□ プランクトン細胞数

(細胞/ml)

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ	シャットネラ属	珧藻類
① 晴気 (水深18.7m)	0	1	0	100
	5	0	0	20
	10	0	0	40
	B-1	1	0	20
② 阿漕 (水深17.9m)	0	0	0	30
	5	2	0	70
	10	50	0	20
	B-1	6	0	150
③ 大浦浜 (水深11.2m)	0	0	0	406
	5	0	0	100
	B-1	0	0	140
④ 波多津 (水深7.3m)	0	0	0	10
	5	42	0	440
	B-1	24	0	20
⑤ 福島南 (水深11.0m)	0	0	0	40
	5	2	0	10
	6	400	0	0
	B-1	54	2	0
⑥ 伊万里港 入口 (水深13.0m)	0	0	0	260
	5	2	0	60
	10	2	0	90
	B-1	22	0	50

□ 調査地点図



(カレニア ミキモトイ の注意・警戒密度の目安)

【対象：巻貝】

注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：50 細胞数/mL



【対象：魚類・二枚貝】

注意基準：100 細胞数/mL

警戒基準：1,000 細胞数/mL

カレニア ミキモトイ

次回の調査は 7月10日（木）に予定しています。